

第64回

全国消費者大会

(主催:第64回全国消費者大会実行委員会)

参加費
無料大会統一
テーマ平和な社会とくらしを守るために、
ともに学び未来へつなごう開催
日時2025年11月29日(土)
10:00~16:10「全国消費者大会」は
今回で64回目の
開催となる消費者と
消費者団体の集会です。

プラザエフB2クラルテ(東京都千代田区)およびオンライン(Zoom)開催

プログラム
概要

- 第1セッション(10:10~12:10) デジタル化と消費者力
「広告に潜む“誘導”のしくみ~ダークパターンを見抜く力~」
「消費者のための広告リテラシー~法的視点で読み解く誘導表示~」
- 第2セッション(13:00~15:00) 食料安全保障
「食料安全保障と持続可能な食料システム」
「コメが足りない! この問題をどう乗り切るか?」
- 全体会(15:10~16:10)
セッション概要報告・特別報告

定員

オンライン参加 300名、会場参加 60名

(事前申し込みが必要です。定員になり次第締め切ります。)

申込方法

①~②のいずれ
かの方法でお申
し込みください。

① Googleフォームからのお申し込み

下記URL、または右の二次元コードからお申し込みください。
送信完了メールが自動送信されます。<https://x.gd/el5j5> (Google フォーム)② メールでのお申し込み(送信先: webmaster@shodanren.gr.jp)お名前、(団体名)、メールアドレス、電話番号、参加形式(会場、オンライン)、
冊子資料希望の有無(会場参加の方のみ、1,500円前後の予定)をご記入の上、
大会事務局(webmaster@shodanren.gr.jp)にお送りください。
1週間以内に受付のご連絡をいたします。

申込締切

11月24日(月) (締切日以後は事務局までお問い合わせください)

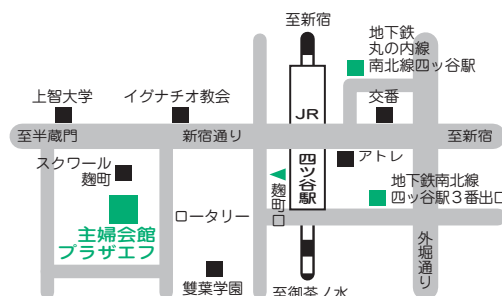
▶ 参加URLほか詳細のご案内は11月25日(火)にメールにてお送りします。

お問合せ先

第64回全国消費者大会実行委員会事務局
(一般社団法人 全国消費者団体連絡会)

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 プラザエフ6F

電話: 03-5216-6024 FAX: 03-5216-6036

メールアドレス: webmaster@shodanren.gr.jpURL: <http://www.shodanren.gr.jp>

全国消費者大会案内ホームページURL:

https://www.shodanren.gr.jp/Annai/shouhisha_taikai_2025_annai.htm

プログラム

9:40～

会場入場開始・オンライン入室開始

10:00

開会式

来賓挨拶 (消費者庁長官 堀井奈津子様)

講師紹介

10:10

第1セッション デジタル化と消費者力

広告に潜む“誘導”のしくみ ～ダークパターンを見抜く力～

広告は身近な情報源ですが、誤認を招く表現は消費者の判断を誤らせる恐れがあります。意図せず誤解を生む可能性がある巧妙な誘導表示にどう立ち向かうべきか、JAROに寄せられるダークパターンの広告表示の審査事例をご紹介します。認識を深めます。

吉田 巖 氏

公益社団法人日本広告審査機構 (JARO)
審査部 課長



略歴

広告に関する審査業務に日々従事する傍ら、JAROに寄せられた相談事例を活用し、広告表示の関連法規等をテーマに多数の講師を担当する他、業界団体の専門委員を多く務める。消費生活アドバイザー等の資格を有し、広告表示の適正化と啓発に努めている。

消費者のための広告リテラシー ～法的視点で読み解く誘導表示～

ダークパターン等による広告の誘導表示はどこまで許されるのか。法制度や判例をもとに、専門弁護士が広告表示の境界線を読み解き、デジタル時代に求められる消費者の広告リテラシーの重要性に迫ります。

染谷 隆明 氏

池田・染谷法律事務所 代表弁護士



略歴

消費者庁当局の経験を活かした、広告規制を遵守しつつ利益を最大化する広告戦略やマーケティング助言の他、消費者庁調査対応等の危機管理を最も得意とする。大手IT企業への出向など数多くの広告事業に携わり、アフィリエイト広告やステマ防止に関する最前線での実務経験を有する。

12:10

昼休み

13:00

第2セッション 食料安全保障

食料安全保障と 持続可能な食料システム

食料・農業・農村基本法が昨年改正、施行されました。改正法の基本理念の中心は、国民一人一人の「食料安全保障」です。米の店頭価格も社会的関心事となる中、食料安全保障、環境と調和のとれた食料システム等について改めて考えます。

中嶋 康博 氏

女子栄養大学教授、東京大学名誉教授



略歴

専門は農業経済学、フードシステム学。生協総合研究所理事長。農林水産省食料・農業・農村政策審議会委員。同審議会において、基本法改正の議論における基本法検証部会長、基本計画の見直し検討における企画部会長を務める。

コメが足りない! この問題をどう乗り切るか?

2024年以降の米価格高騰は広範な注目を集めています。その要因については様々な議論が示され、大まかにみれば政府と識者の見解が収束しつつあります。中長期的な日本の農業と食料安全保障のあり方に関わる側面から、今後につながる論点や課題を論じていきたいと思います。

平澤 明彦 氏

農林中金総合研究所 理事研究員



略歴

東京大学大学院農学系研究科修士課程修了、東京大学大学院博士 (農学)。研究分野は欧米の農業政策、食料安全保障政策など。『図解 知識ゼロからの食料安全保障入門』(2024年 監修・執筆) など著作多数。

15:00

15:10

全体会

ここまでの2つのセッションの概要報告を行うと共に、本大会のテーマとして掲げた「平和な社会」「未来への継承」について、昨年ノーベル平和賞を受賞された日本被団協と平和への願いを受け継ぐ若者から報告をいただき、被爆80年の今年、これからの平和について考えあいます。

日本被団協の濱住さんからは「核兵器も戦争もない人間社会を」と題した報告を、広島大学の藤田さんからは全国大学生協連の「Peace Now! Hiroshima 2025取り組み報告」と題しての報告をいただきます。

濱住 治郎 氏

日本原水爆被害者団体協議会 (日本被団協) 事務局長、認定NPO法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会代表理事



略歴

広島で母親の胎内3か月で被爆。1946年2月生まれ、2003年稲城市原爆被爆者の会設立にかかわる。2019年NPT再検討会議NGOセッションや2025年核兵器禁止条約締約国会議で発言。2024年ノーベル平和賞授賞式参加。岩波ブックレット「被爆者からあなたに」共同執筆。

藤田 未来 氏

広島大学 学生



略歴

広島大学総合科学部国際共創学科 在学中
Peace Now! Hiroshima 2025 実行委員

閉会式

実行委員長挨拶

16:10